

令和5年度北海道真狩高等学校学校評価

1 本年度の学校教育目標

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能に加え、農業や食に関する専門性を養い、グローバルな視野を持って、地域産業を担うことのできる生徒を育成する。
- (2) これからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を身に付け、自己の能力を最大限に伸ばさせて、主体的に逞しく生きることのできる生徒を育成する。
- (3) 豊かな心を養い、互いに磨きあい、他者と協力して、自らの人生と社会の未来を創造するために、力を尽くすことのできる生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 地域とのつながりを大事にしている。 校内研修の充実を図り、資質向上に努めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> これからも、様々な事にチャレンジしていただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 年間を見とおした計画および地域との調整を行う。 「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、校内外研修に積極的に参加する。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に参加できる授業づくりを実施することができた。 BYODを活用した、朝学習や寮での学習時間を活用し学習習慣の定着に努めたが、これからも継続的に実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 机上での学びと体験的な学びが結びつくことで、学ぶ目的をさらに自覚でき意欲につながっていると思われる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習の活用や寮や家庭での学習により基礎学力の向上を図る。 授業アンケートの情報共有や校内研修での活用を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> いじめ見逃しゼロとなるように、教職員全員で研修会等を行い対応することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ」はもう少し徹底したほうが良い。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 指導の在り方等で情報を抱え込まない、相談しやすい雰囲気づくりに努める。 挨拶等の基本的生活習慣の育成を図るため、教員から積極的に挨拶を行う。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンスやキャリアカウンセリングなどを通して、進路のミスマッチを引き続きなくしていく必要がある。 進路の決定について、保護者と情報を密にし、対応する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 真狩高校は、生徒一人一人に向き合い進路指導をしてくれて良かった。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンスやキャリアパスポート等を活用し進路に対する意識を高める。 保護者への情報提供を継続することで、指導の理解促進に努める。 	
専門教育	<ul style="list-style-type: none"> 様々な取り組みにチャレンジし、結果を残すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携したオーガニックビレッジへの挑戦に向けての取り組み、応援しています。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な連携を行いながら、授業を展開していく。 	
寮教育	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の規範意識を高め、集団の一員であることの自覚をより一層高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体では「十分に取組まれている」「ほぼ取組まれている」との回答が多いものの、学年によっては基本的生活習慣等の改善が求められている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 規則の確認や生徒同士の連絡や報告を徹底することで、基本的生活習慣の確立に努める。 	
公表方法	学校ホームページ等で公表。	